

2021年度

# 経営デザインによる 生産性向上プログラム

「これからの経営設計図」で経営を次代につなぐ「経営デザイン認証制度」

## 経営デザインによる生産性向上プログラムとは



高齢化と人口減少が急激に進む中、日本企業は働き方改革と生産性向上が求められています。特に中小企業経営者の平均年齢は70歳を超え、現在、約100万社の事業承継が喫緊の課題となっています。

過去の経営を振り返り、これまで何を魅力として価値を提供してきたのか、そして、強みを活かすための取り組みを次代経営者とともに「これからの経営設計図」に創り上げていくことにより、付加価値の高い経営引継ぎになります。

「経営デザイン」と称する「これからの経営設計図」を、第三者が書類と面談にて審査をし、一定レベルに達した企業を認証する制度が「経営デザイン認証」です。そして、この設計図づくりから具体的な領域別の経営課題解決までの一連の支援プログラムが「経営デザインによる生産性向上プログラム」です。

### 経営デザインはこんな方におすすめ！

- 経営を次世代につなげたい経営者の方
- 先代から経営を継承した若手経営者もしくは次期経営者の方
- 「経営を見える化」したい経営者、事業部長等の方
- 「日本経営品質賞」への挑戦を通じて「顧客価値経営」の一步を踏み出したい経営者の方

## 経営デザインの内容と期待効果



### 経営・事業の承継 ～個人経営から組織経営へ～

次世代の幹部と「経営デザイン＝これからの経営設計図」づくりを通じ、自社の経営の目指す方向が明らかになります。経営幹部や社員が経営デザインを共有することにより、組織全体の力で経営変革と事業成長を図ります。



### 継続的な経営改善、革新

デザインした経営を実践して振り返ることにより、効果の把握と課題が発見できます。



### 経営改善、革新のアイデアの獲得

認証制度に申請し、作成した経営デザインを第三者の審査によって、自社では気が付くことのできない経営改善、革新のアイデアを得ることができます。



### 付加価値、生産性の向上

明らかになった経営を社員と話し合い、商品、サービスの提供に活かすことにより、社員の働き甲斐を高め、お客様に喜ばれる経営の実現を図ることができます。



### 社会からの評価

「経営デザイン認証委員会」(※)が認証します。これにより社会的な評価を得ることができます。  
※日本を代表する経営者で構成される委員会のことです。

## WEB説明会(経営デザインワーキンググループ)

[https://www.jqac.com/management\\_design/about](https://www.jqac.com/management_design/about)

# 経営デザインの進め方

## STEP1 まずは自社で経営をデザインしてみる



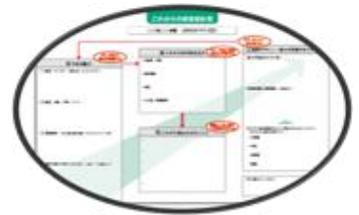
経営デザイン認証  
スタートアップ認証



経営デザイン認証  
ランクアップ認証

経営品質協議会では、自社で経営設計図を作成できるように、ガイドブックと経営設計図をご提供しております。まずは、ガイドブックに従って、自社の「これからの経営設計図」を作成してみましょう。

### これからの経営設計図



### ガイドブックと設計図のダウンロード

[https://www.jqac.com/management\\_design#FirstStep](https://www.jqac.com/management_design#FirstStep)  
「経営デザインの進め方」へアクセス

## STEP2 経営デザイン認証制度の活用 ～第三者からのアドバイスを受ける～



ガイドブックに沿って経営設計図を作成する中で、「これでよいのだろうか」「より良いものにして完成度を高めたい」「せっかくなら社会的評価につなげたい」などの思いが芽生えた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

経営品質協議会では、経営デザイン認証という制度があります。経営デザイン認証制度とは、日本を代表する経営者で構成された「経営デザイン認証委員会」の審査により経営設計図を認証する制度のことです。この認証を受けることにより、社会的な評価を得ることができます。

また、第三者支援を受けてより良い経営設計図を作成していく支援も行っております。認証制度や第三者支援の活用についても検討してみましょう。

# 経営デザイン認証制度とは

経営デザイン認証制度とは、「これからの経営設計図」を第三者（日本経営品質賞審査員、経営品質協議会認定セルフアセッサー資格取得者、認定セルフアセッサー養成講師で、日本経営品質賞アセスメント基準に基づき、企業・NPOの経営支援活動をされている方）が面談等のやりとりから、アドバイスやフィードバックの支援を行い、その上で経営デザイン認証委員会で書類・面接による審査を行い、一定レベルに達した組織を認証する制度のことをいいます。この認証制度は、あくまで第三者からの支援を受けることを目的とし、その支援をうけて完成した経営設計図という証として認証制度を設ける形となります。

認証期間は3年間となり、二つの認証制度があります。

## 1. スタートアップ認証



経営デザイン認証  
スタートアップ認証

「ありたい姿」「現在の環境認識」「変革課題」を組織として**見える化**され、実践していると認められた企業を認証します。

**必要書類** A3判1枚のフォーマット

まず、**短時間で「経営の見える化」からスタートしたい**  
経営者の方

## 2. ランクアップ認証



経営デザイン認証  
ランクアップ認証

「ありたい姿」の達成に結び付く**成果の指標、目標が見える化**され、実践していると認められた企業を認証します。

**必要書類** A4判10枚のフォーマット

理念、戦略、計画、目標を**一貫させて、「全員参加」の**  
**経営にバージョンアップを**図りたい経営者の方

# 経営デザイン認証委員会



### 経営デザイン認証委員会 共同委員長

ANAホールディングス株式会社

代表取締役社長

**片野坂 真哉 氏**

<https://www.ana.co.jp/group/>



### 経営デザイン認証委員会 共同委員長

第一生命保険株式会社

取締役会長

**渡邊 光一郎 氏**

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

## 共同委員長からのメッセージ

日本企業は、経営者が高齢化し、さらに後継者が不足するという問題を抱えています。この厳しい経営環境下で、企業として中長期の安定成長を実現するためには、常に「ありたい姿」「現状」「そのギャップを解決するための課題」を正しく認識することが重要です。そして、それらの認識の上に立つ「経営の設計図」いわゆる「経営デザイン」を経営陣が描いて経営を「見える化」したら、ミドルに徹底的に伝えて「わかる化」し、「わかる化」をしっかりと行うことで、現場に伝わり、現場の「できる化」につながります。企業規模の大小に関わらず、原理原則に従い、経営をデザインし、「ありたい姿」の実現に向けて取り組むことは、「夢、元気、明るさ」につながると考えています。特にベンチャー経営者においては、この「経営デザイン」策定を通じて経営の志、自ら経営を改革する際の計画、方法、悩みなどを明らかにし、第三者にぶつけてアドバイスを受けることで経営のばねとして役立てることが出来ます。また、この「経営デザイン」は中小企業はもちろん、大企業の事業部門や支店単位での活用で生産性向上が期待できます。経営の「見える化」により、経営課題に対する社員の理解が進むとともに、組織経営がスムーズに継承できるからです。

## 委員一覧

キャンマーケティングジャパン株式会社  
代表取締役社長 **坂田 正弘 氏**

この「経営デザイン」を上手に活用することで、パートナーとの連携を図り、持続的な経営づくりに役立てられることに期待しています。

福井県済生会病院  
病院長 **登谷 大修 氏**

医療機関にも「経営」が問われています。特に、職員満足(ES)の向上を経営の問題として取り組むことで、自ら強みと課題に気づき、組織を変える大きな力を得ることを期待しています。

社会福祉法人こうほうえん  
会長 **廣江 研 氏**

特に地方では、後継者の育成に悩んでいる組織が多い。経営デザイン認証によって創業者の想いが見える化し、次世代へと繋げていくことを期待します。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
代表取締役社長 **村林 聡 氏**

組織が目指す姿を全員が共有し、「経営デザイン」に取り組むことで、各社の経営革新と生産性向上がドライブされることを期待します。

# 経営デザイン認証審査スケジュール

- 8月31日 ① 申請書提出締切
- 9月中旬 ② 審査 □ トップインタビュー 9月13～16日 (東京・日本生産性本部)
- 9月 ③ 申請組織トップへのインタビュー
- 10月 ④ 経営デザイン認証委員会による認証組織の決定
- 11月 ⑤ マスコミ発表
- 12月 ⑥ 表彰

## 提出書類について

- 応募申請 (WEB入力)
- 「わが組織のこれからの経営設計図」  
(フォーマット記入)  
スタートアップ認証の方 A3版1枚  
ランクアップ認証の方 A3版1枚・A4版10枚
- 他、貴社のお客様、従業員、財務等に関する資料

## 審査費用 (税別)

### 1. スタートアップ認証

一般	300,000円
日本生産性本部賛助会員	265,000円
経営品質協議会会員	255,000円

### 2. ランクアップ認証

一般	400,000円
日本生産性本部賛助会員	350,000円
経営品質協議会会員	340,000円

## 経営デザイン研修(オープン・インハウス)ご案内 [https://www.jqac.com/management\\_design/training](https://www.jqac.com/management_design/training)

経営者、経営幹部が、「経営デザイン」の方法を学び、実際に作成するプログラムです。オープン研修は、他組織の参加者やファシリテーターから自組織の特長について新たな気付きを獲得することができます。インハウス研修は、専門家がオンラインまたは貴組織にお伺いし、「経営設計図」作りをファシリテートします。

### オープン研修 開催概要

期間・内容 2021年5月13日(木)、18日(火)午後

#### ● スタートアップコース(1日)

5/13(木) 10:00～18:00

#### ● ランクアップコース(1.5日)

5/13(木) 10:00～18:00および5/18(火) 13:30～17:30

開催場所 日本生産性本部(東京都千代田区平河町)

参加費(1名様、税別)	経営品質協議会会員	一般
スタートアップコース	42,000円	50,000円
ランクアップコース	67,000円	80,000円

※「これからの経営設計図」は、複数で検討されることをお勧めします。  
オープン研修に2名以上で参加し、2021年度経営デザイン認証に申請頂いた場合、1名分の参加費を認証申請費用から割引します。

### インハウス研修 開催概要

貴組織のねらい、参加対象、スケジュール等、ご要望に応じ、専門家が「経営設計図」作りをファシリテートします。  
(オンラインでの開催実績もございます)

#### 【開催の主なねらい】

- 次世代経営幹部の養成  
※経営参画マインド、目線の引き上げに有効
- 経営戦略策定、事業戦略策定  
※全社、部・課、店舗・事業所等、希望により設定可能
- ビジネスパートナー研修  
※組織の枠を超えて共通の顧客価値創りに取り組む

お問合せ <https://www.jqac.com/contacts/>

「経営デザインによる生産性向上プログラム」最新情報はホームページにて:

[https://www.jqac.com/management\\_design/](https://www.jqac.com/management_design/)

経営デザインについて  
問い合わせる

公益財団法人日本生産性本部 顧客価値創造センター  
経営品質協議会 担当: 塩見 / 半田

E-mail [jqa-info@jpc-net.jp](mailto:jqa-info@jpc-net.jp)

問合せ <https://www.jqac.com/contacts/>

<https://www.jqac.com/management-design/>

